

# 令和2年度事業報告書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

## I. 学校法人の概要

本学校法人大阪貿易学院は、教育基本法及び学校教育法に従い、建学の精神に則って学校教育を行い、有為な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために設置された本学校法人大阪貿易学院の令和2年度における概要は、以下のとおりであります。

### 1. 建学の精神と教育目標

設立当初は、外国語に堪能な国際人の育成として、継続的努力を要する語学の修得を主眼として設立された。

校訓「研精して倦まず」を「知・徳・体すべてにわたって自己を磨き続ける」と解し、教育活動の実践的な柱としてきた。

現在の教育目標を、下記に示す。

- ① 男女共同参画社会において、社会のリーダーとして活躍する人間の育成
- ② 文系・理系を問わず、理数の素養を身につけ、21世紀の情報化社会に対応できる人間の育成
- ③ 世界的視野に立ち、国際感覚に富む人間の育成
- ④ 思いやりの心を持ち、社会的常識を備えた人間の育成
- ⑤ 正しい生活習慣を身につけた、心身ともに健全な人間の育成

### 2. 沿革

|         |  |
|---------|--|
| 大正 2年   | 大阪商業会議所が国際人育成のため語学教育に重点をおいた専修学校を設立し、経済援助を行うことを決定。      |
| 大正 3年   | 12月1日 大阪貿易語学校を設立、会頭土居通夫が初代理事長に就任。                      |
| 大正11年   | 大阪市都島区東野田9丁目に新校舎落成。                                    |
| 昭和20年   | 戦災により校舎焼失。   |
| 昭和21年   | 会頭 杉道助 が理事長に就任、復興に尽力。                                  |
| 昭和23年   | 学制改革により大阪貿易学院と改称。新制商業高等学校となり、現在地に新校舎完成。                |
| 昭和39年   | 普通科設置。   |
| 昭和54年   | 英語科設置。   |
| 昭和59年   | 全校舎冷暖房設備完備。  |
| 昭和61年   | 普通科Ⅰ・Ⅱ類と学科を改組。   |
| 平成 3年   | 中学校開校。   |
| 平成 4年   | 「大阪商工会議所主管」が外れる。                                       |
| 平成 6年   | 高等学校普通科6年編入コース・Ⅰ類と学科を改組。                               |
| 平成 7年   | 開明中学校・高等学校と改称。   |
| 平成13年   | 中学校男女共学化。中学「理数コース」設置。                                  |
| 平成16年   | 高等学校男女共学化。   |
| 平成18年   | 中学既設の「理数コース」と併せ「スーパー理数コース」設置。                          |
| 平成19年   | 共学1期生(第92期生)、高校卒業。                                     |
| 平成24年   | 共学6期生(第97期生、スーパー1期生)、高校卒業。<br>校舎全面建替工事開始、高等学校は仮設校舎に移転。 |
| 平成26年   | 学院創立100周年。新校舎完成。グラウンド人工芝化。                             |
| 平成27年3月 | 体育館改修工事完了。   |
| 平成28年3月 | 清滝テニスコート改修工事完了。  |
| 平成29年9月 | 全教室電子黒板設置。   |

### 3. 主要な運営指標等の推移

5月1日時点

| 区分          | 平成28年度 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| 在籍者総数       | 1,684  | 1,701  | 1,677  | 1,602 | 1,542 | 1,527 |
| 高校          | 881    | 871    | 870    | 836   | 828   | 804   |
| 中学          | 803    | 830    | 807    | 766   | 714   | 723   |
| 高校専願<br>志願者 | 298    | 272    | 278    | 284   | 266   | 240   |
| 高校併願<br>志願者 | 139    | 94     | 57     | 53    | 51    | 32    |
| 中学志願者       | 2,002  | 1,715  | 1,308  | 1,234 | 1,330 | 1,126 |
| 教職員総数       | 147    | 150    | 151    | 148   | 148   | 143   |
| 本務教員        | 92     | 94     | 95     | 92    | 92    | 86    |
| 兼務教員        | 28     | 29     | 29     | 27    | 26    | 27    |
| 本務職員        | 9      | 8      | 8      | 7     | 7     | 7     |
| 兼務職員        | 8      | 9      | 9      | 9     | 10    | 10    |
| その他職員       | 10     | 10     | 10     | 13    | 13    | 13    |

### 4. 所有地・建物等

#### ①所有地（学校用地）

|         |               |    |         |
|---------|---------------|----|---------|
| 本校地     | 大阪市城東区野江1-9-9 | 面積 | 11,140㎡ |
| 清滝グラウンド | 四條畷市清瀧1472-1  | 面積 | 26,368㎡ |

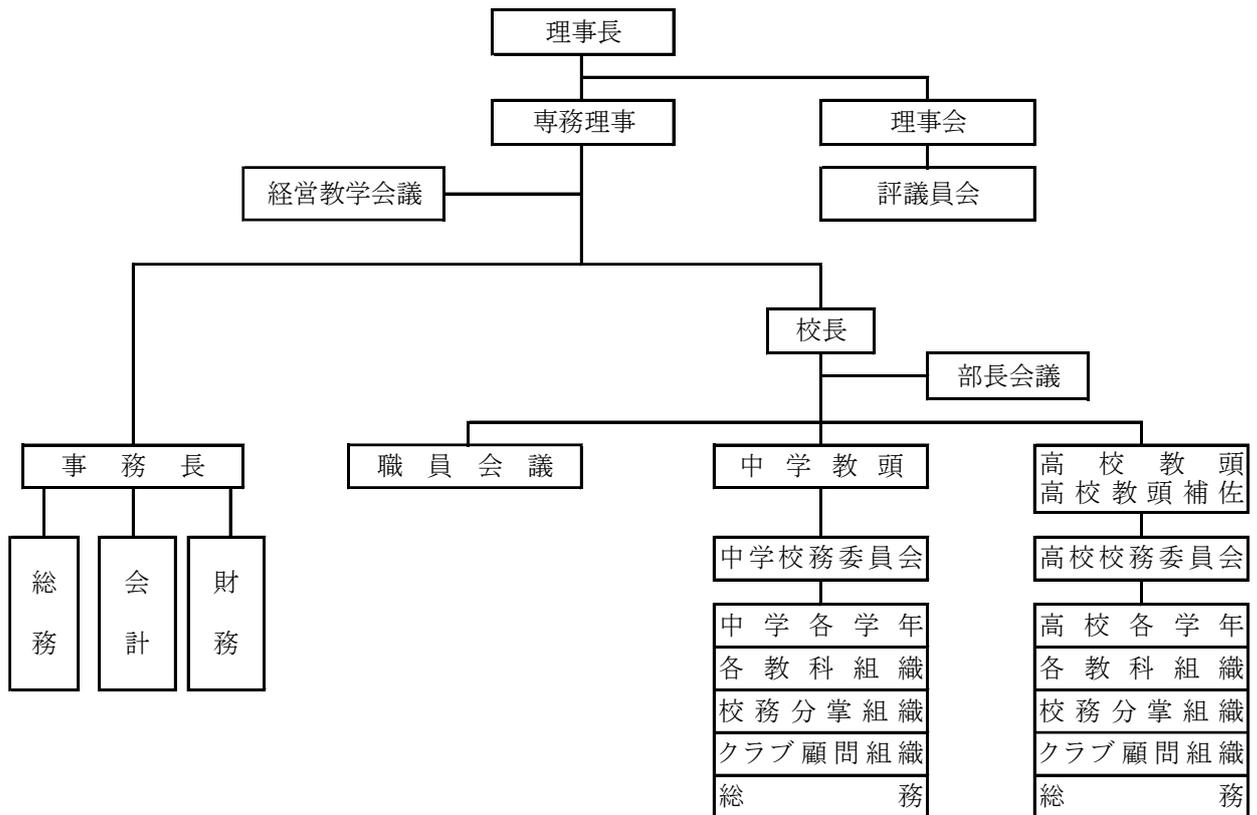
#### ②建物

| 校舎  | 面積(㎡)     |
|-----|-----------|
| 校舎  | 19,193.89 |
| 体育館 | 2,772.15  |
| 合計  | 21,966.04 |

#### ③図書蔵書数 49,657冊

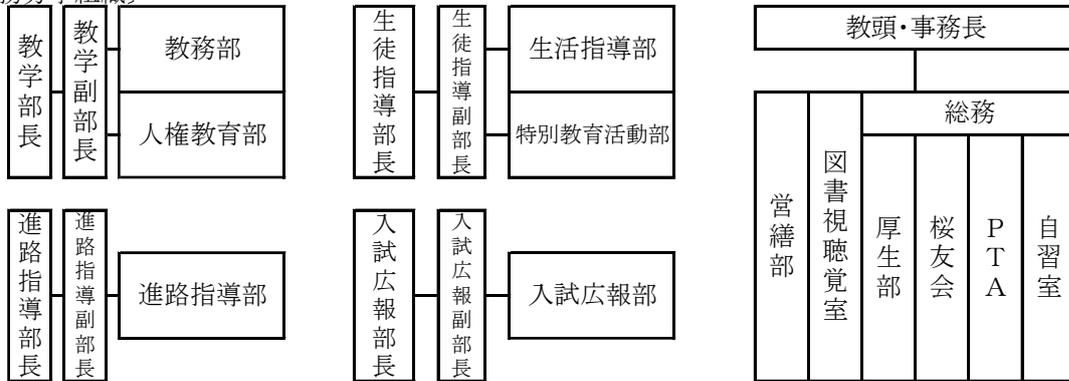
5. 組織・機構

令和2年度学校運営組織 [組織図概要]



[学年組織] 中1・中2・中3・高1・高2・高3の各学年主任・副主任

[校務分掌組織]



[経営教学会議] 学内理事・評議員

[部長会議] 専務理事・校長・中学教頭・高校教頭・事務長・高校教頭補佐(進路指導部長)・教学部長・生徒指導部長・入試広報部長

[校務委員会] 中学教頭・高校教頭・事務長・高校教頭補佐(進路指導部長)・各学年主任・各学年副主任・教学部長・生徒指導部長・入試広報部長で常時運営し随時他の各校務分掌主任が参加する。中学、高校でそれぞれ設置。

[クラブ顧問組織] 中学・高校 運動部・文化部

[その他の各種委員会] いじめ対策委員会、人権教育推進委員会・入試企画委員会・カリキュラム委員会・職員安全衛生委員会・学校安全対策委員会・健康教育委員会・給食委員会(小委員会として生徒相談委員会・結核対策委員会・特別支援教育校内委員会、健康教育委員会を含む)

6. 在籍生徒数

令和2年度（令和3年3月31日現在）

|      | 中学1年生 | 中学2年生 | 中学3年生 | 合計  |
|------|-------|-------|-------|-----|
| 生徒数  | 224   | 244   | 239   | 707 |
| 男子   | 130   | 124   | 125   | 379 |
| 女子   | 94    | 120   | 114   | 328 |
| クラス数 | 6     | 6     | 6     | 18  |

|      | 高校1年生 | 高校2年生 | 高校3年生 | 合計  |
|------|-------|-------|-------|-----|
| 生徒数  | 276   | 279   | 268   | 823 |
| 男子   | 146   | 141   | 158   | 445 |
| 女子   | 130   | 138   | 110   | 378 |
| クラス数 | 8     | 7     | 7     | 22  |

7. 教職員数

令和2年度（令和3年3月31日現在）

|       | 合計  | 男性 | 女性 |
|-------|-----|----|----|
| 本務教員  | 91  | 65 | 26 |
| 兼務教員  | 28  | 10 | 18 |
| 本務職員  | 7   | 5  | 2  |
| 兼務職員  | 10  | 5  | 5  |
| その他職員 | 13  | 12 | 1  |
| 総教職員数 | 148 | 96 | 52 |

8. 法人役員の状況（令和2年4月1日現在）

理事8名、監事2名、顧問1名

|      | 理事          | 監事    | 顧問    |
|------|-------------|-------|-------|
| 理事長  | 西村 貞一       | 廣瀬 恭子 | 久我 一郎 |
| 専務理事 | 澤田 明        | 森田 文明 |       |
| 学校長  | 林 佳孝        |       |       |
|      | 加藤 好文       |       |       |
|      | 立野 純三       |       |       |
|      | 早坂 元実       |       |       |
|      | 森脇 靖（事務長）   |       |       |
|      | 白江 恵三（高校教頭） |       |       |

## 9. 桜友会（卒業生組織）について

### i. 令和2年度の主な活動

4回の役員会開催（内3回は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い郵送による書面審議で対応）。6月5日に会報発行。

例年6月下旬開催の定時総会はコロナの影響により11月28日（土）に延期したものの、再度の急激な感染拡大の状況を受け開催を中止とした。これに伴い、当初出席予定の会員に対し予定議題資料を郵送し、書面により意見等の意思表示できる機会を設けて対応した。

### ii. 令和2年4月1日現在の役員は、下記の通り。

|      |             |      |                       |
|------|-------------|------|-----------------------|
| 会 長  | 西野 修 (51期)  | 名誉会長 | 清水 信次 (28期、ライフ会長兼CEO) |
| 副会長  | 清水 省吾 (52期) | 相談役  | 平井 政博 (39期、元会長)       |
| 副会長  | 吉田 友好 (55期) | 相談役  | 殿浦 嘉郎 (42期、前会長)       |
| 副会長  | 原田 哲夫 (58期) | 顧問   | 池田 信雄 (元校長)           |
| 事務局長 | 鹿島 靖彦 (45期) | 顧問   | 森田 文明 (元校長)           |
| 監 査  | 白木 幸三 (62期) | 顧問   | 早坂 元実 (前校長)           |
| 監 査  | 西川 貴夫 (63期) |      |                       |

## II. 学校法人の経営概要

### 1. 財務状況について

#### ① 収入について

- 入学生徒数は、安定しており学費収入も安定している。
- 大阪府からの経常費補助金は、高校で2%カットが解消されたことにより増加した。但し、中学校は依然として15%カットが継続されている。また、大阪府の経常費補助単価は、国の補助単価を大きく下回っている。

#### ② 支出について

- 就学支援金に関する学校負担金（奨学金）は、1,479万円余であった。

#### ③ 会計処理について

生徒からの徴収金等は、全て学校会計基準に基づいて、適切に処理している。また、資産運用についても、運用規定に基づき運用している。

## III. 教学の概要

### 1. 教育事業の概況

#### (1) 教学に関する事項

##### ① 中学校

令和2年度は、年度当初から5月末まで新型コロナによる一斉休校、学校再開後も6月半ばまでは分散登校となり、全校生徒が一斉に登校できるようになったのは6月半ばからであった。これにともない1学期に予定されていた行事のほとんどは中止または延期を余儀なくされた。入学式は例年とは異なり、午前中に中学、午後には高校と中・高別々で実施したが、1学期始業式は一斉登校が可能となった6月15日に実施した。弁論大会や春の校外学習をはじめ、中学1年のオリエンテーション合宿、中学2年の理科実習、中学3年の修学旅行なども中止となった。一斉休校の期間中は、4月第2週からはオンデマンド方式でのオンライン授業の配信を実施し、また担任・副担任による電話での生徒の状

況の掌握に努めるなど、生徒の学習遅滞防止に対して比較的迅速に対応できた。学校再開後、文化祭や体育大会、歴史探訪などは感染拡大防止に注意しながら例年とは異なる形式でも何とか実施できたが、音楽発表会やスキー実習などは中止せざるを得なかった。また、中学校の卒業式は、前年度の中学卒業式は保護者参列なしで実施したが、令和2年度は、中学卒業式・高校卒業式とも、保護者は8階屋内運動場で、2階の式の様子を生中継で見ながらの参列で実施することができた。

現在では、中高の在学生の96%が6年コースの生徒であり、「中学からの入学生をしっかり教育し伸ばすこと」が一層求められている。

新校舎での生活がスタートして以来、中学では各学年、週4回の給食の提供を実施しており、令和2年度も、新型コロナ感染拡大防止のため、全員が正面を向いて、一切会話無しという形式ではあったが、無事実施することが出来た。また、令和2年度は授業での水泳実習こそ出来なかったものの、例年はプールでの水泳実習や和室を使ってのクラブ活動など、教育活動の幅も広がっている。生徒、保護者の意見も良く聞いて適切な形で更に改善、充実していきたい。

英検に関しては、例年、中学3年修了までに準2級以上を取得する生徒が7～8割に達するが、令和2年度には、高校生で準1級に16名、1級に2名が合格した。早い時期に準2級に合格することで、更に上を目指そうと自主的に頑張るきっかけにもなり、引き続き、積極的に取り組んでいきたい。

## ②高等学校

今春卒業した高校3年生は、新型コロナによる長期の休校に加え、大学入試センター試験に代わる大学入学共通テストの最初の受験生であり、直前での英語民間資格の利用や記述式の導入の見送り、共通テストの実施時期決定の遅れなど、生徒たちも不安を抱えながらの1年であった。268名(スーパー10期で、106期生に当たる)の進路結果(浪人含む)は、東大1名、京大19名、阪大7名、神大17名、国公立大医学部8名(防衛医大1名を含む)、現浪全体で154名が国公立大(大学校5名を含む)に合格し、卒業生比では57.5%であった。現役では101名が国公立大(大学校5名を含む)に合格し、卒業生比で37.7%であり、不安をはね返し、立派に頑張ってくれた。高校2年生(279名)は、1学期実施予定であった北海道修学旅行を秋に延期し、結果的に実施することができた。夕張復興についての提案や現地での交流など有意義な旅行となった。また勉強合宿が実施できない中で、昨年末には勉強合宿に代わる集中講座を行ない、学年が一体となって受験に立ち向かう決意を新たにするなど、意欲的な実践を続けてきた。まとまりも良く、新たな可能性を作りつつある。高校1年生(276名)は、海外語学研修やスキー実習は中止となったが、恒例の卒業生の協力による「開明大学」は実施でき、文理選択の指導などを通じて進路意識も高まってきた。令和2年度の高1時は内部進学生7クラス、編入1クラスの、学年8クラス構成であったが、令和3年度の高2時には、内部進学生と編入生を混合して学年7クラス編成となる。

## ③令和2年度高校卒業生の進路(令和3年度大学入試合格・進学状況)

i. 今春高校卒業生の進路に関わる主な指標は、次の通りである。

- a. 卒業生数 268名(7クラス)
- b. 大学進学希望者 268名
- c. 大学進学者数 203名(現役生進学率  $c/a = 75.7\%$ )
- d. 現浪国公立大学合格者数 154名( $d/a = 57.5\%$ )
  - ※東京大1、京都大19、大阪大7、神戸大17、大阪市大4、大阪府大12など。
  - ※現役生合格者数 101名( $101/a = 37.7\%$ )
  - ※大学校5名(現役5名)を含む。
- e. 現浪国公立等医歯薬系 13名(医、歯、薬)

※防衛医科大学校1名（現役）を含む。

f. 現浪私立大学合格者数 773名（うち関関同立202名、延べ数）

g. 現浪私立医歯薬系 66名（医、歯、薬）

ii. 詳細は、別紙資料による。

#### ④授業改革

基礎学力を定着させ、生徒の学習意欲を高めるためにも、目先の勉強で生徒を追い立てるのではなく、よく考えて勉強する良い学習習慣を身に付けさせたい。この指導を「授業改革」というスローガンの下進めてきた。生徒が授業の予習・復習に時間を掛ける、授業の準備をしっかりと授業を受ける、これが学習の基本であるが、そこを大事に学習の改善ができるようにしていこうというものである。現在、必要な小テストや確認テストなどは授業の中で行い、授業外での小テストを多用することは避けている。

#### ⑤教員研修及び講演会

学校教育活動のグレードアップをはかるための教職員研修を実施している。全教職員対象の研修、部長・学年主任・副主任の合同研修、新人研修など。また、教科指導力の向上を目指し、学期毎の研究授業を実施し、また学外での教科研修会へ参加も推奨している。

生徒を対象とした講演会としては、スマホやSNSを用いたいじめや人権侵害などが全国的に問題になっており、本校でも、兵庫県立大の竹内和雄先生の講演を毎年実施している。また、進路講演会としては、例年、学術分野の第一線で活躍されている方をお迎えして、学びへのいざないや、研究と社会とのつながりについてなどお話しして頂いている。この間に講演して頂いた方は以下の通り。

2010年度 益川 敏英 先生（2008年ノーベル物理学賞受賞）

2011年度 高須 直子 先生（iPS細胞研究所知財契約管理室長）

2012年度 橋本 樹明 先生（JAXA宇宙科学研究本部教授）

2013年度 戸田山 和久 先生（名古屋大教授）

2014年度 山崎 直子 先生（宇宙飛行士）

2015年度 杉本 淑久 先生（京都大教授）

2016年度 池内 了 先生（総合研究大学院大学教授）

2017年度 中村 哲 先生（医師、NGO ペンシャワール会代表）

2018年度 本校卒業生（経産省宇宙産業室勤務、JAXA勤務、京都大助教）

2019年度 梶田 隆章 先生（2015年ノーベル物理学賞受賞）

2020年度 上 昌広 先生（医師、医療ガバナンス研究所理事長）

ちなみに昨年10月には「米国版はやぶさ」ともいわれるNASAの探査機「オシリス・レックス」が小惑星ベンヌのサンプル収集に成功し、12月にはJAXAの「はやぶさ2」が小惑星リュウグウのサンプルリターンに成功したが、JAXAとNASAの「はやぶさ2＝オシリス・レックス協力協定」の締結には、2018年度に講演してくれた本校の卒業生が携わっている。

#### ⑥生徒指導

「学習指導と生活指導は車の両輪」が本校の生活指導の基本である。学習を支える基本的な生活習慣、生活規律の確立に向けた指導を強めると共に、豊かな倫理観を養う教育に努めた。

平成25年6月に制定された「いじめ防止対策推進法」を受け、本校でも「学校いじめ防止基本方針」を策定し、ホームページに公表している。生徒、保護者、教職員が心をひとつにして、深刻ないじめ

で悩み苦しむ生徒がいないように努めてきた。令和2年度も、教職員に対して、いじめの定義の再確認といじめの早期発見に関する研修を実施するとともに、生徒、保護者には学校のいじめ・体罰などの相談窓口について文書で明示し、また学期ごとに「いじめアンケート」を実施し、早期発見に努めている。

#### ⑦学校評価

令和2年度も、全生徒・保護者を対象に学校評価アンケートを行った。授業担当者の個別評価も導入している。それらを踏まえて教職員の自己評価アンケートも実施している。令和2年度の生徒、保護者のアンケート回収率は中学校では生徒76.9%・保護者78.6%、高校では生徒61.4%・保護者62.2%であった。

以上